



感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和6(2024)年 第46週 (11/11~11/17)

三宅島 感染症の報告はありません

御蔵島 感染症の報告はありません

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)



東京都の注目される定点把握対象疾患

《東京都感染症週報R6年第45週》

- インフルエンザの定点当たり報告数は、1.12で前週(0.92)より増加しています。
流行開始の目安である1.0を超えました。
- 手足口病の定点当たり報告数は、6.16で前週(8.75)より減少し警報レベルが続いています。
- 伝染性紅斑の定点当たり報告数は、1.23で前週(1.38)より減少、今後の動向に注意が必要です。

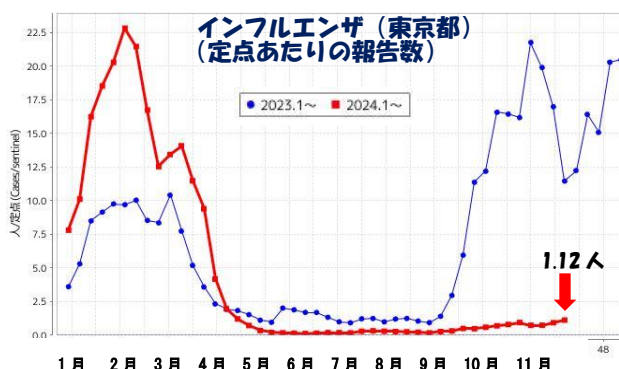
島しょの情報(11島の医療機関からの報告)

《第46週(11/11~11/17)》

- 新型コロナウイルス感染症の医療機関当たりの報告数は0.00で前週(0.64)より減少しています。
 - インフルエンザの医療機関当たりの報告数は0.00で前週(0.36)より減少しています。
- 油断せず状況に応じて、部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。

インフルエンザ患者の増加に注意が必要です！東京都より報道発表

- 11月4日から11月10日までの都内定点医療機関からの患者報告数は1.12人で、流行開始の目安となる定点当たり1.0人を超え、都においてもインフルエンザが流行シーズンに入りました。
- インフルエンザは、多くは12月から3月にかけて流行しますが、去年は同時期で定点当たり20人を超えており、すでに流行していたことがわかります。今年は、患者報告数の推移をみると、これから、本格的な流行を迎えることが予想されます。インフルエンザにかからない、感染を広げないために、こまめな手洗い、消毒、咳エチケット等の基本的な感染防止対策を一人ひとりが心がけてください。(参考:東京都保健医療局 11月14日報道発表)



【基本的な感染防止対策】

- ① 着用が効果的な場面でのマスク着用** マスクしよう
人混みに行く時や会話をする時、咳やくしゃみが出る時にはマスクの着用を
 - ② 手洗い・消毒をしよう**
外出後など、流水・石鹸で、こまめな手洗い・消毒を
でもあらおう
 - ③ 換気をしよう**
十分な換気をすることは、感染症対策につながります
かんきしよう
- ☆適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、なども効果的です。

《編集・発行》 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX04994-2-1009

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



インフルエンザ患者の増加に
注意が必要です(報道発表資料)
(東京都保健医療局)



インフルエンザについて
(東京都保健医療局)



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和6 (2024)年第46週

令和6年11月11日～ 令和6年11月17日

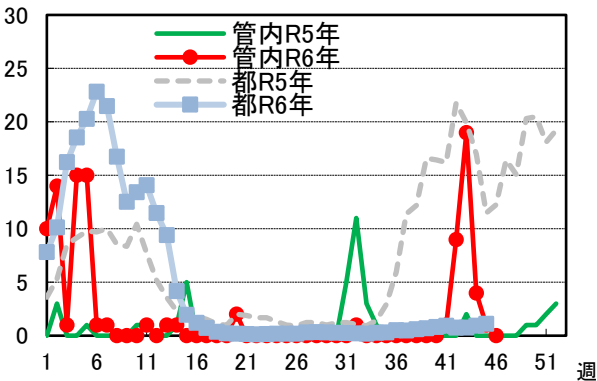
疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ/ COVID-19定点)	令和6(2024)年				令和6(2024) 年累計	東京都 定点あたり 45週
	43 週	44 週	45 週	46 週		
RSウイルス感染症					0 (0)	0.20
咽頭結膜熱					0 (0)	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					5 (0)	1.41
感染性胃腸炎					15 (1)	2.46
水 痘					0 (0)	0.20
手 足 口 病					2 (0)	6.16
伝染性紅斑					0 (0)	1.23
突発性発しん					0 (0)	0.23
ヘルパンギーナ					0 (0)	0.09
流行性耳下腺炎					0 (0)	0.03
MCLS(川崎病)					0 (0)	0.01
不明発しん症					0 (0)	0.04
インフルエンザ	19 (0)	4 (0)	1 (0)		97 (32)	1.12
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)			1 (0)		77 (24)	1.03

※カッコ内: 御蔵島報告数の再掲

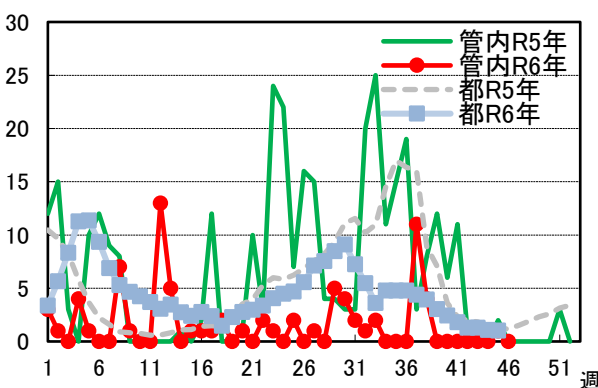
【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ

管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

管内の感染症状況は落ち着いていますが、東京都から、インフルエンザの流行シーズンに入ったことが発表されました。今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。